

令和 8 年度 東京の農林水産業振興に向けた専門懇談会
水産部会（第 1 回）

次 第

日 時 : 令和 8 年 7 月 2 7 日 (月)
1 6 時 1 5 分～1 7 時 4 5 分
場 所 : 都庁第一本庁舎一般会議室 1 1 2 ・ 1 1 3

1 開会

2 部会長選任

3 議事

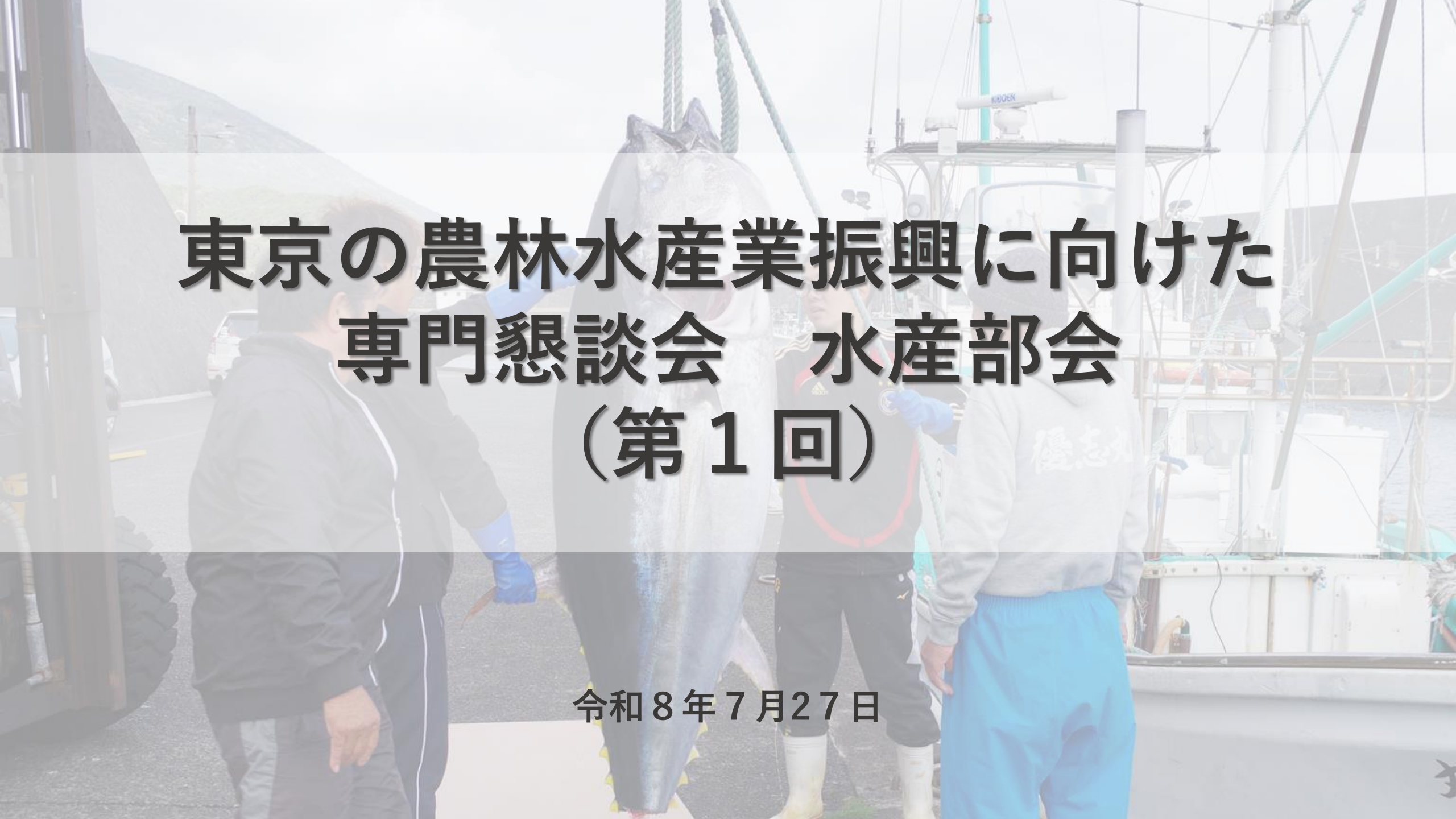
議題 東京の水産業振興に向けた意見交換

4 閉会

東京の農林水産業振興に向けた専門懇談会 水産部会 委員名簿

(五十音順・敬称略)

所属等	氏 名
東京海洋大学 海洋生命科学部 教授	くどう たかふみ 工藤 貴史
理研食品株式会社 取締役	さとう よういち 佐藤 陽一
鹿児島大学 水産学部 教授	さの まさあき 佐野 雅昭
株式会社 農林中金総合研究所 主任研究員	たぐち さつき 田口 さつき
一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センター 事務局長	まがみ あつこ 馬上 敦子



東京の農林水産業振興に向けた 専門懇談会 水産部会 (第1回)

令和8年7月27日

01. 東京都の水産業

- 1 概要
- 2 島しょ地域の漁業
- 3 東京内湾の漁業
- 4 内水面の水産業
- 5 水産加工業
- 6 漁業生産量の推移

02. 意見交換のテーマ

- 1 気候変動に対応した水産業
(陸上養殖・新魚種の検討)
- 2 魚価向上に繋がるマーケティング
- 3 水産業の担い手育成、女性活躍推進
- 4 漁業・漁協の経営力強化

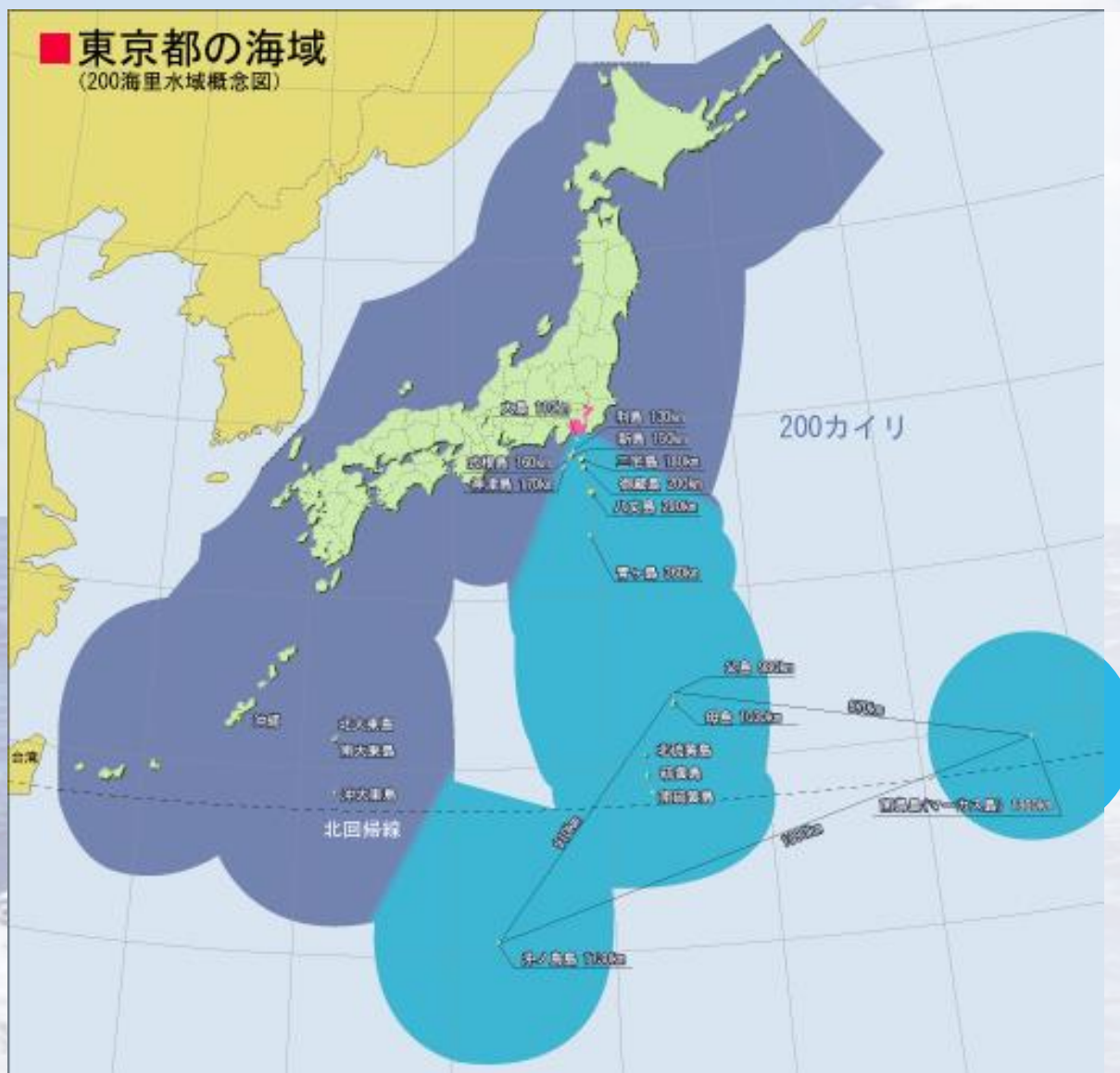
01. 東京都の水産業

- 1 概要
- 2 島しょ地域の漁業
- 3 東京内湾の漁業
- 4 内水面の水産業
- 5 水産加工業
- 6 漁業生産量の推移

02. 意見交換のテーマ

- 1 気候変動に対応した水産業
(陸上養殖・新魚種の検討)
- 2 魚価向上に繋がるマーケティング
- 3 水産業の担い手育成、女性活躍推進
- 4 漁業・漁協の経営力強化

1



東京都離島周辺の
排他的経済水域は
日本全体の**38%**

東京都の漁業の中心は 伊豆・小笠原諸島

都市化の進む中でも営まれている 東京湾、河川の漁業

○ エリアごとに特色のある東京の水産業

内水面

多摩川、荒川、江戸川



アユ



マス類



シジミ

東京内湾

東京湾



アサリ



スズキ



アナゴ

伊豆諸島

大島、利島、新島、式根島、
神津島、三宅島、御蔵島、
八丈島、青ヶ島



キンメダイ



メダイ



テングサ

小笠原諸島

父島、母島



カジキ類



ハマダイ



マグロ類

島しょ地域の漁業

- 伊豆諸島・小笠原諸島周辺海域は、都の漁業者のほか、全国からの多くの漁業者も操業
- 都の漁業は、20トン以下の小型漁船による1～2人乗りの日帰りを中心とした操業
- 静穏な海域が少なく、養殖生産量は僅か

島 しょ 地 域 の 主 な 漁 業 種 類



底魚一本釣り漁業



曳き縄漁業



棒受け網漁業



潜水漁業



カジキたて縄漁業



トビウオ流し刺し網漁業

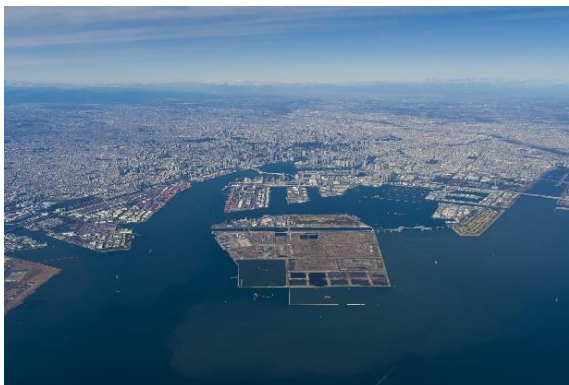
東京内湾の漁業

- かつては、広大な干潟を有し、ノリ養殖や、採貝漁業などが営まれ、全国でも有数の水揚げ量
- 高度成長期の水質汚染や、埋め立てによる漁場縮小に伴い漁獲量は大きく減少
- また、都市開発を優先させるため、漁業権、漁業許可が廃止され、多くの漁業者が転廃業
- 本来、生産性の高い海域であり、現在も残された漁場で「江戸前」の水産物を都民に供給

東京湾の変化



一面に広がるノリ養殖場（昭和30年代）



埋め立ての進んだ現在の東京湾

東京内湾海域図



現在も続く操業



内水面の水産業

- 多摩川、江戸川、荒川で、シジミやアユ、ウナギなどが漁獲
- 多摩地域では、マス類の養殖業が営まれ、江戸川区では現在も金魚養殖が継承

操業の様子



主な生産物



水産加工業

- 新島、八丈島などを中心として、伊豆諸島の特産である「くさや」を製造
- 近年は漁協女性部などが加工品の製造販売を行い、水産加工業の担い手として期待

くさや加工



くさや加工場（八丈島）



未利用魚等の加工

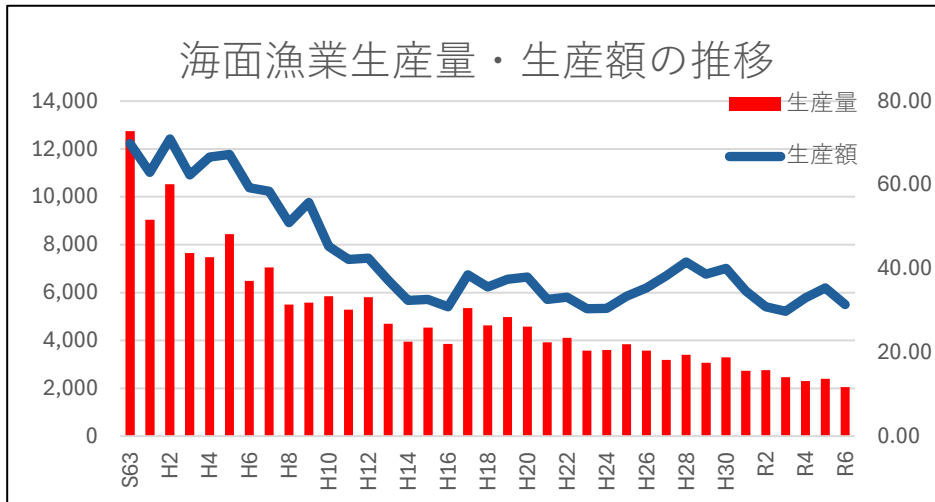


漁協女性部の水産加工場（八丈島）

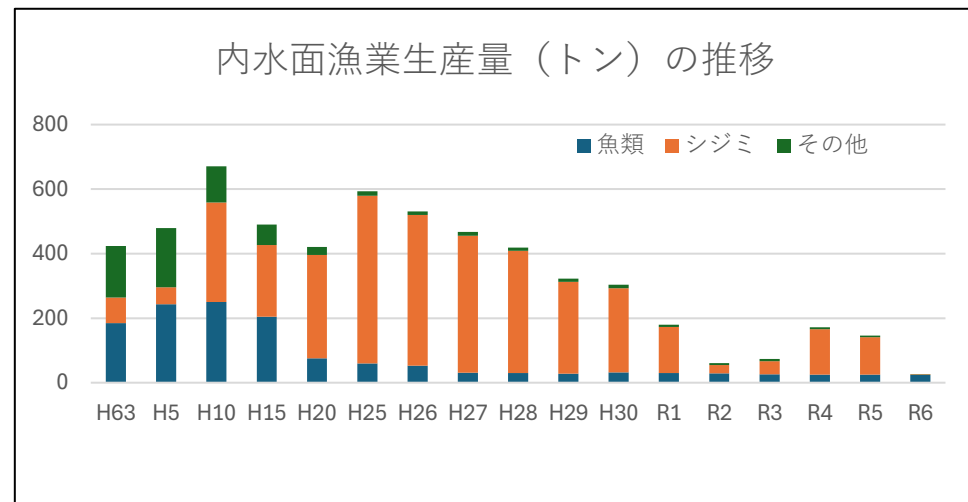
6 漁業生産量の推移

- 海面漁業生産は、磯焼け進行等により長期的に減少傾向で、最盛期の3割以下にまで減少
- キンメダイなど特定の魚種に漁獲が偏重の一方で、クロマグロなど漁獲が増加する魚種も
- 内水面の漁業生産はシジミが主体、養殖生産はマス類が主体で、いずれも生産量は減少傾向

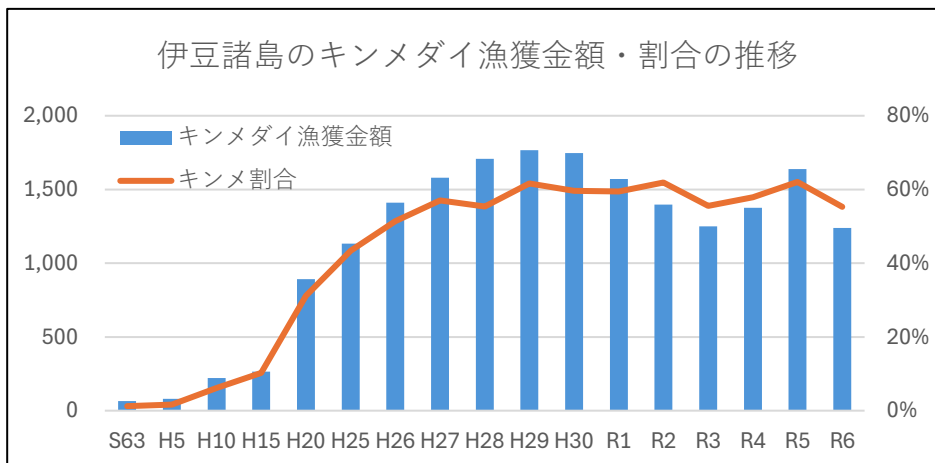
①



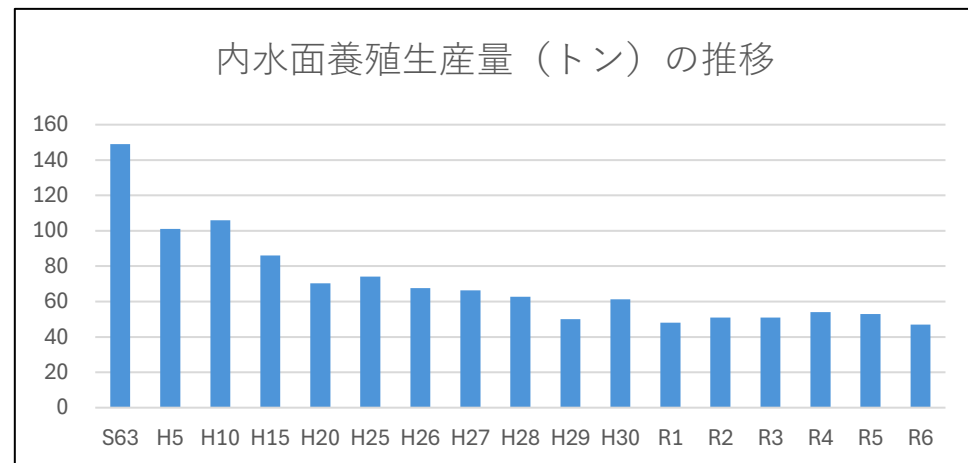
③



②



④



01. 東京都の水産業

- ① 概要
- ② 島しょ地域の漁業
- ③ 東京内湾の漁業
- ④ 内水面の水産業
- ⑤ 水産加工業
- ⑥ 漁業生産量の推移

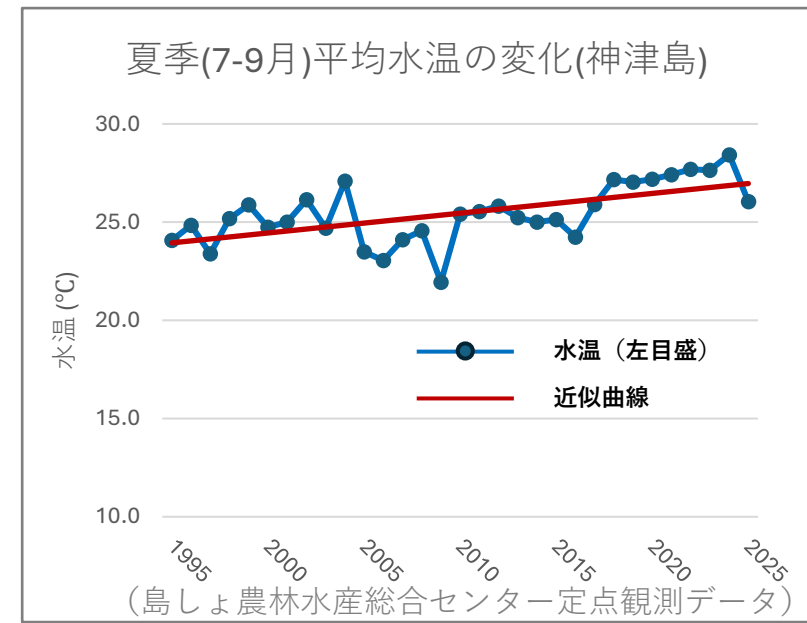
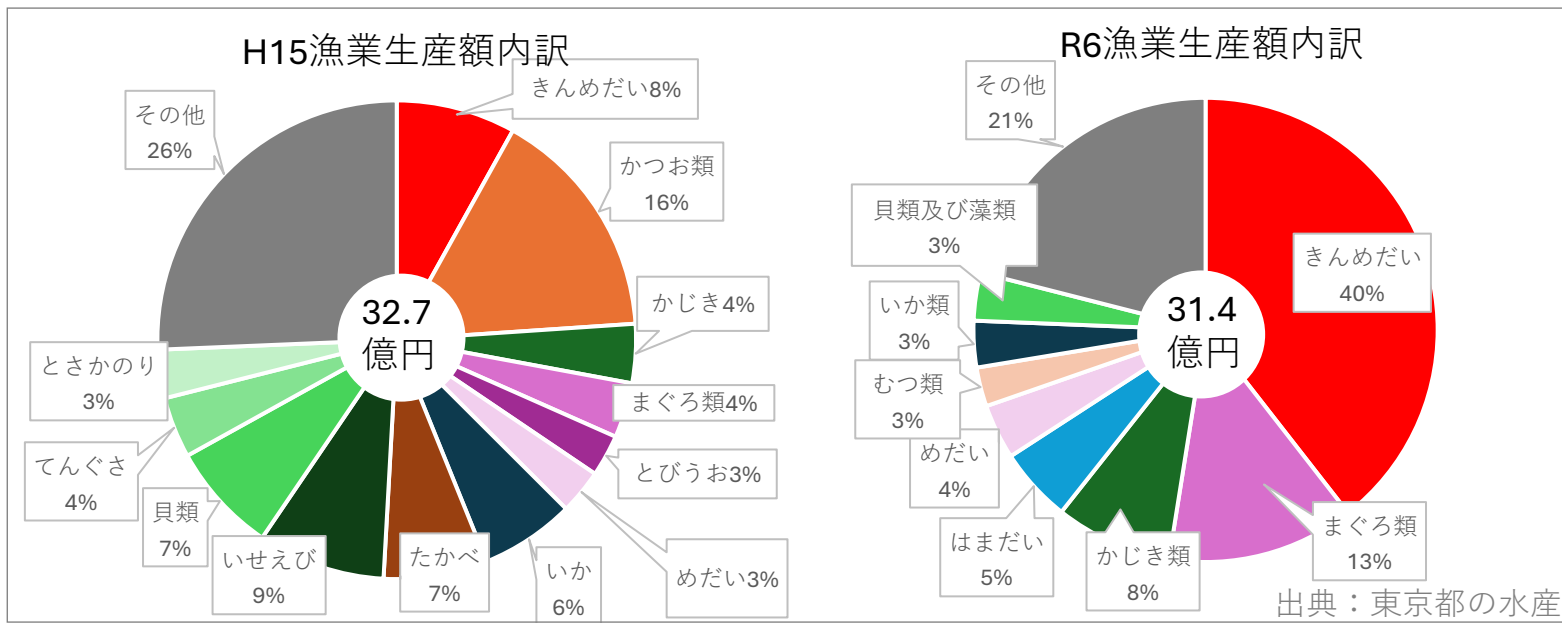
02. 意見交換のテーマ

- ① 気候変動に対応した水産業
(陸上養殖・新魚種の検討)
- ② 魚価向上に繋がるマーケティング
- ③ 水産業の担い手育成、女性活躍推進
- ④ 漁業・漁協の経営力強化

1 気候変動に対応した水産業（陸上養殖・新魚種の検討）

現状

- 地球温暖化等の影響等による**生産額の低迷**と**魚種構成の変化**（特定魚種への依存）
- 令和 7 (2025)年度から陸上養殖の事業化に向けた取り組みを開始



課題

- ✓ 今後の**水産業生産額増加**に向けた新しい魚種、生産方法
- ✓ 遊休施設を活用し、**自立経営可能な陸上養殖**の展開

1 気候変動に対応した水産業（陸上養殖・新魚種の検討）

東京都の取組

陸上養殖の事業化モデルの作成

- 閉鎖型陸上養殖（多摩地区・サクラマス）
民間企業と連携し、閉鎖循環式陸上養殖のビジネスモデルを作成するため、実証試験を実施する。
- 高付加価値魚種の陸上養殖（神津島・チョウザメ）
神津島村と共同で遊休施設と湧水を活用したチョウザメの陸上養殖試験を実施する。
- 放流用種苗を活用した陸上養殖（島しょ・アワビ、サザエ、トコブシ）
放流用貝類種苗を用いて、利島村蓄養施設において養殖の事業化実証試験を実施中。



養殖中のトコブシ（利島村）

新しい種苗放流魚種等に関する取り組み

- 藻類種苗の生産試験
テングサ・アントクメ等の種苗生産技術開発
- 東京都栽培漁業センター
藻類・魚類の種苗生産に向け、施設改修工事を実施中。



アントクメ種苗

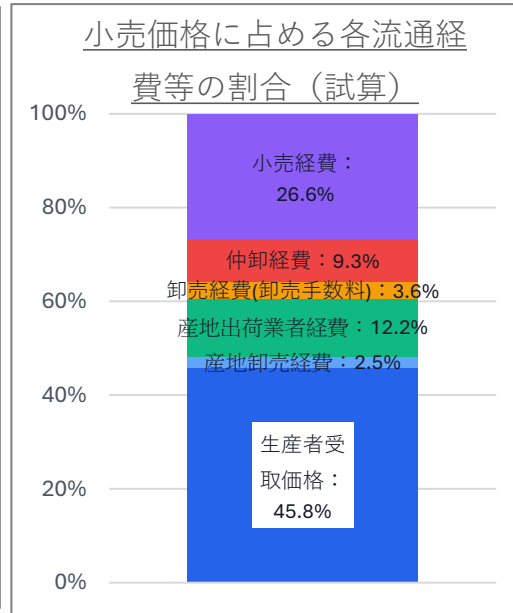
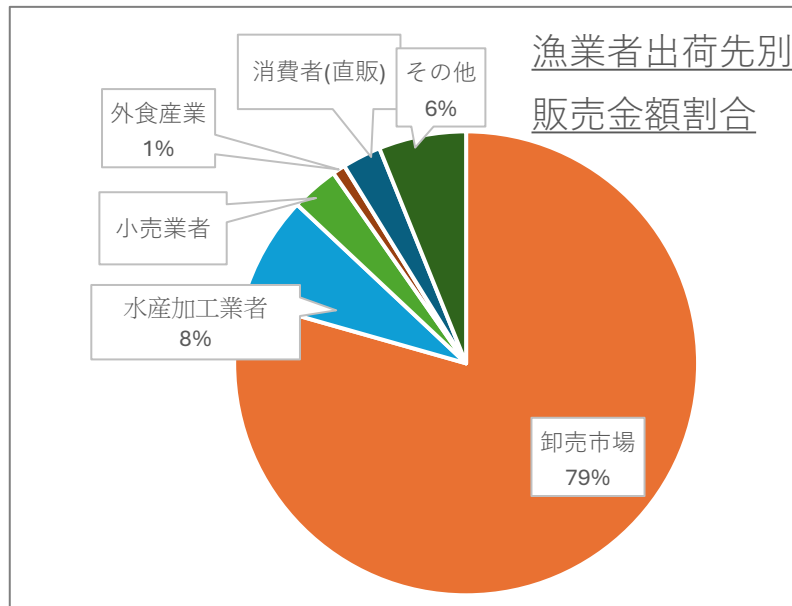
藻場の衰退への対応

- 外部専門家による検討
高水温に対応した藻類など、藻場回復方法の検討

2 魚価向上に繋がるマーケティング

現状

- 水産物は市場依存度が高く、**小売価格に占める流通経費割合が高い**
- 全国平均に比べて**相対的に低い**東京産水産物の魚価



令和6年 主要魚種単価の比較

	東京（島しょ地域）	全 国
キンメダイ 平均単価	1,866円/kg	2,505円/kg
大型クロマグロ 平均単価	3,320円/kg	6,688円/kg (青森)
ハマダイ 平均単価	1,597円/kg	2,362円/kg

《東京都の水産、都漁連出荷データ及び市場統計年報（豊洲市場）より算出》

課題

令和6年度食品流通段階別価格形成調査（水産物調査）より作成

- ✓ **産地の特性**を踏まえた出荷先や販売方法などの**水産物販売戦略**
- ✓ ブランド化など魚価向上につながる、他産地に負けない**価格形成手段**

2 魚価向上に繋がるマーケティング

東京都の取組

魚価向上、高付加価値化への取組

○ ブランド化の推進

都漁連が設置するブランド化推進協議会に対する支援を実施。産地漁業者等に対し、品質向上を目的とした講習会を開催。

○ 加工品開発支援

民間企業のノウハウを活用し、島しょ部加工団体の商品開発を支援。低未利用魚等を使用した加工商品の開発・販売促進を図る。



水揚げされるクロマグロ（三宅村）



船上活メキンメダイ

販路開拓・消費促進支援

○ 海外販路開拓支援

漁業者団体が実施する海外販路開拓を支援。シンガポール等4カ国への輸出を実施している。

○ 生産現場見学ツアー

シェフを対象とした生産現場見学会を開催し、東京産水産物の販路拡大を図る。

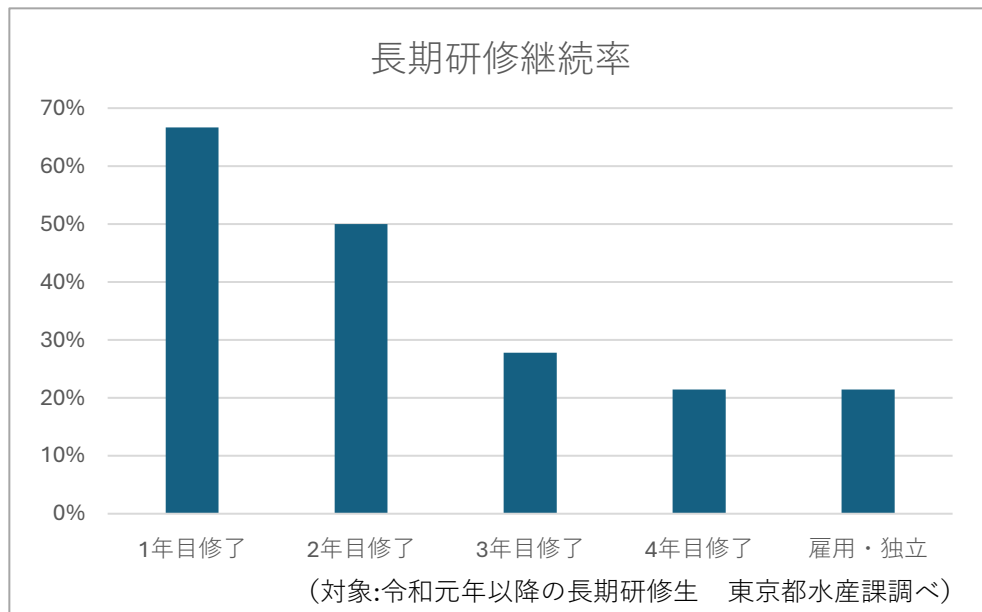


漁業者団体による海外販路開拓

3 水産業の担い手育成、女性活躍推進

現状

- 長期漁業研修生を継続して受け入れているが、新規独立者は少ない。
- **漁業操業は男性中心の一方、水産加工や魚食普及では女性が活躍**



八丈島漁協女性部による出前授業（都内小学校）



水産加工業（神津島）

課題

- ✓ 水産業の**担い手確保策**、漁業研修生の**定着率の向上**
- ✓ 女性、高齢者など**多様な人材**が働きやすい就労環境

3 水産業の担い手育成、女性活躍推進

東京都の取組

漁業の担い手対策

- 東京フィッシャーズナビ
漁業者の確保・育成、漁業就業に関する情報の提供や相談の総合窓口を設置
- PR活動
漁業就業支援フェアへの参加、学生向け体験ツアーの実施など、漁業就業者等に対するPRを実施
- 漁業研修生に対する支援
短期研修・長期研修に必要な経費の支援、長期研修生への資格取得支援・家賃補助、独立支援などを実施



東京フィッシャーズナビ

魚食普及活動等

- 魚食普及
加工者団体が小中学校で実施する出前授業を支援
民間団体と連携し、東京都魚食普及員（ととと先生）を育成・小中学校に派遣
- 生産現場研修会
栄養教諭向け生産現場研修会(産地見学・調理実習)の実施に対する支援を実施
- 親子向け調理講習会
東京産水産物を使用した親子向け調理講習会を開催



親子向け調理講習会

4 漁業・漁協の経営力強化

現状

- 水揚げ手数料収入に依存する漁協経営の悪化、欠損金の増大
- 国際情勢の変化などにより長期間継続している燃油・資材等のコスト高騰

島しょ漁協の経営状況（R 6実績）

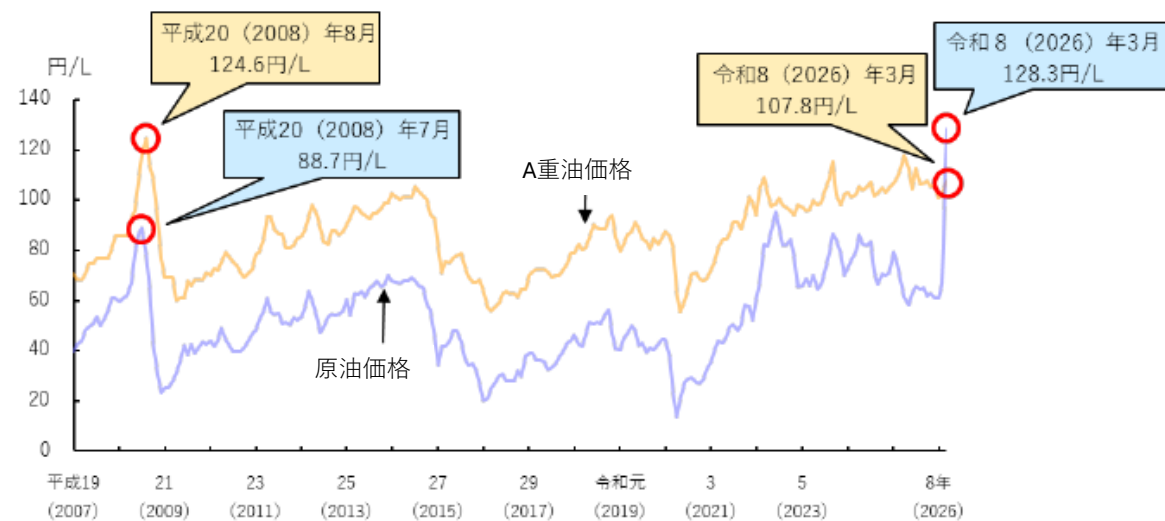
項目	東京都（島しょ地域）	全国
事業収益平均	417,024千円	632,557千円
事業直接費平均 （収益に占める割合）	348,363千円 （84％）	509,177千円 （80％）
事業利益平均 （利益率）	68,662千円 （16％）	123,380千円 （20％）
欠損金を抱える漁協の 割合	45％ （5/11組合）	（13％） （110/833組合）

※欠損金を抱える4漁協は事業利益の50%以上が販売事業利益

課題

- ✓ 漁業生産や人口減少が続く中でも**持続可能な漁協経営**の在り方
- ✓ **稼げる**漁業・養殖業、コスト増に負けない**漁業経営**への転換

燃油価格の推移



資料：水産庁調べ

4 漁業・漁協の経営力強化

東京都の取組

漁協経営に対する支援

○ 経営構造改善支援

各漁協の経営診断を実施し、外部専門家の意見をいただきながら経営改善を指導

特に経営不振に陥っている漁協に対しては、伴走型特別指導を実施

○ 資格取得支援

漁協職員の業務上必要な資格取得に必要な経費等を支援

燃油高騰対策等に対する支援等

○ 漁船用燃油購入に係る経費負担を軽減

島しょ部漁業者が購入する漁業用燃油販売手数料相当額を補助

○ セーフティネット積立金に対する補助

漁業経営セーフティーネット構築事業の加入漁業者が負担する積立金に対して支援を実施

○ 漁業用資材購入に係る支援

島しょ部漁業者が購入する出荷用資材に対して支援を実施

○ 内水面養殖用飼料の価格高騰への支援

国際情勢の影響により価格が高騰した養殖用配合飼料の購入に対して支援を実施

